



# 代表争い大詰め

## 苫小牧で 23人枠へアピール

【苫小牧】来年2月の平昌冬季五輪（韓国）に出場するアイスホッケー女子日本代表の候補合宿が14日、苫小牧市の白鳥王子アイスアリーナで始まった。20日まで行われ、代表選手が決定する最後の合宿になりそうだ。チーム最年長36歳の小野粧子（フルタイムシステム御影グレッグズ）は「自分にできることを100%出し切りたい。持ち味を発揮すれば代表は近づくと思つ」と気を引き締めていた。



## アイスホッケー日本女子



代表候補合宿の練習で、持ち味を出そうとフレーするGKの近藤真衣（左）とFW小野粧子

同じセットのDFとしてフレーする志賀葵（右）と紅音の姉妹（左）

合宿のメンバー25人から、現時点でのDF、FWを1人ずつ減らし23人に絞る予定だ。駒太苫小牧高、北海高（札幌）など計4試合の練習試合も組まれている。山中武司監督は「コンディションを含め、試合内容にもこだわりたい。選手は自分の良さを出してアピールしてほしい」と話していた。（北雅貴、金野和彦）